

## 令和元年度学校評価の課題と改善に向けた具体的な取り組み等について

- 1 学校経営 学校と地域や保護者との互恵的な関係の中で学校教育目標が策定できるように情報の共有化を図り、協働的な取組を推進する。教育方針に対する生徒の理解や満足度がやや低いことから、主に学習指導や班活動、ホームルームでの指導等を通して周知を図るとともに、カリキュラム・マネジメントの中で一貫した指導を推進する。
- 2 学習指導 次期学習指導要領の内容を視野に入れ、授業見学、研究授業、授業アンケート等による授業改善を継続して行う。全教室に設置されたプロジェクターの有効な活用方法についてさらに研究を進める。本校としてあるべき「文武両道」の形の検討を進めつつ、生徒が見通しをもって予習や復習などの学習に取り組むことができるよう継続的な指導を行う。
- 3 生徒指導 遅刻指導、交通安全指導、アンケート等によるいじめの未然防止・早期発見などを継続し、健全で安心安全な環境を整える。また、父母教師の会とともに、保護者や地域との協働的な取り組みを検討する。
- 4 進路指導 担任や教科担当者による個別面談や進路講演会などの進路意識を高める取り組みによって生徒の主体的な進路決定を支援する。高大接続改革の動向についての対応を含め、組織的な進路指導を推進する。研修会や保護者会、「進路のしおり(てびき)」などの配布により、本校の進路指導の方針を保護者と共有するための取組を継続する。
- 5 特別活動等 生徒が学習と班活動との両立や時間の使い方に課題を感じていることから、本校における班活動や生徒会活動・ホームルーム活動の意義を踏まえつつ、それらと学習の両立ができるような環境整備を慎重に検討する。
- 6 学校図書館 生徒が時間の使い方に課題を感じている中で、生徒の読書時間も減少傾向にある。図書館利用や読書時間の増加を図り、読書習慣の定着を実現するために、印刷物やインターネットによる定期的な情報発信を継続する。また、教科等の学習のための活用を推進する。
- 7 保健・安全指導 父母教師の会と連携して、防災への取り組みをさらに充実させ、保健や安全、危機管理への意識を、生徒・保護者と共有できるようにする。防災訓練をサイレント訓練の方式でも行うなど、実践に近い訓練を通して防災意識を高めるとともに災害時に備える。
- 8 人権教育 人権アンケート等を通して生徒の人権意識の実態を把握したうえで、3年間の体系的な人権教育計画に基づいた講演会や生徒の主体的な取り組みを通して、正しい理解の基づいた人権意識をさらに高める。
- 9 環境教育 ごみゼロ運動等の地域の清掃活動に参加することや、日常の校内清掃活動の充実により、環境美化への意識を高める。
- 10 事務・管理 安全安心な環境を整えるため、継続的な安全確認と、経年劣化している箇設備等の修理や整備を行う。
- 11 その他 SSH事業、理数科課題研究、学校設定教科「探究」等の本校の特色ある教育活動を発展させ、生徒の主体的な学習意欲の向上につなげる。また、ホームページを活用して、生徒、保護者や地域に向けて情報を発信することにより情報の共有化を図る。